

【ア.過年度の卒業生に対するアンケート調査等】

2024年度卒業生アンケート集計結果

回答日：2024年6月8日～8月31日

対象：卒業生

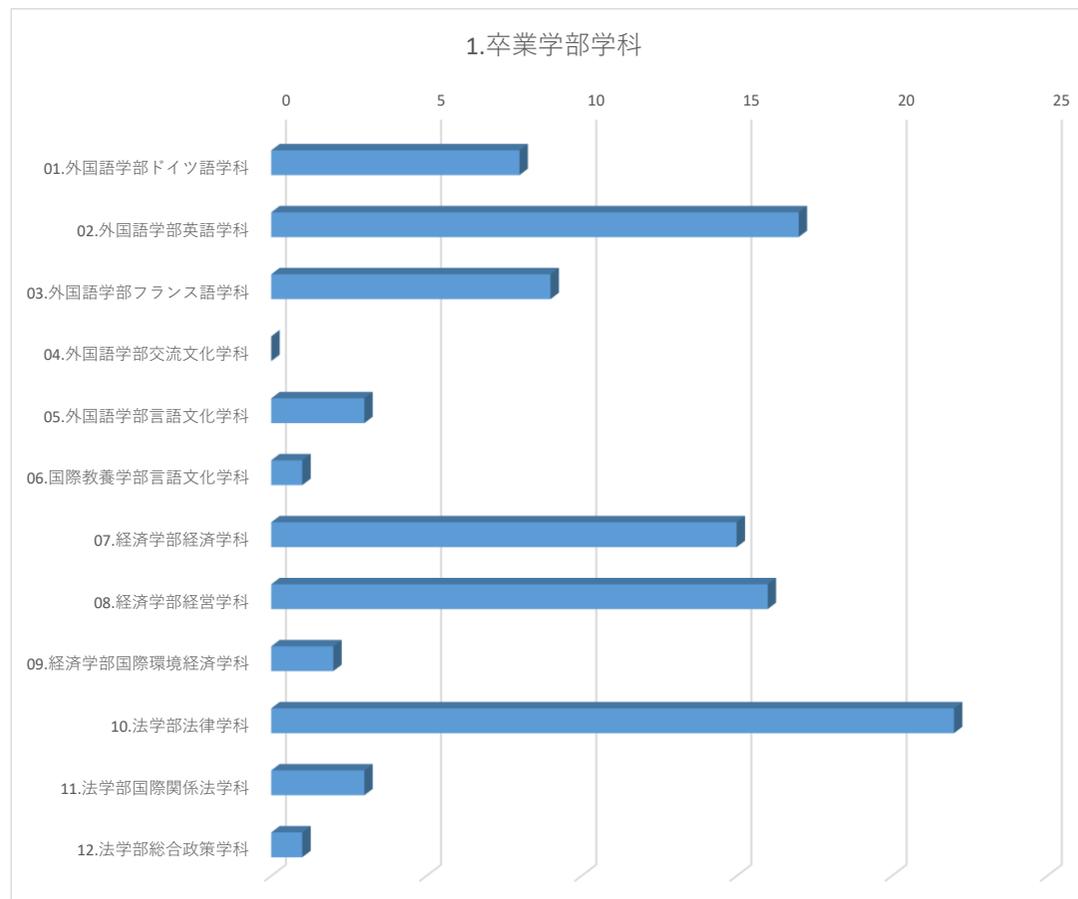
回答数：97件

1.卒業学部学科

01.外国語学部ドイツ語学科	8
02.外国語学部英語学科	17
03.外国語学部フランス語学科	9
04.外国語学部交流文化学科	0
05.外国語学部言語文化学科	3
06.国際教養学部言語文化学科	1
07.経済学部経済学科	15
08.経済学部経営学科	16
09.経済学部国際環境経済学科	2
10.法学部法律学科	22
11.法学部国際関係法学科	3
12.法学部総合政策学科	1

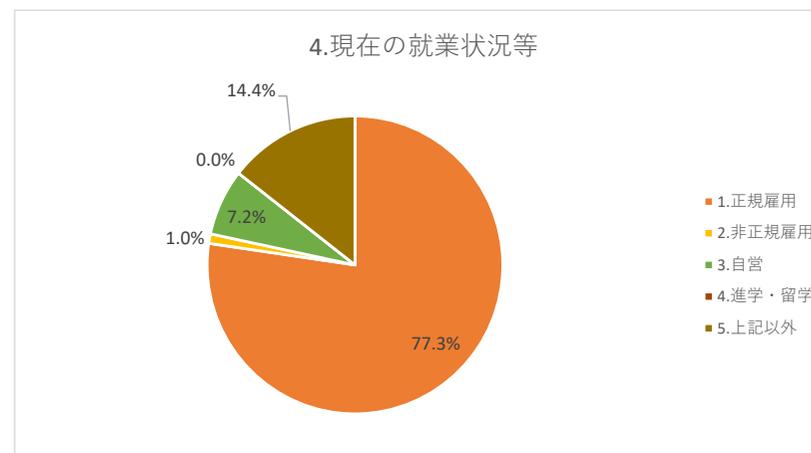
2.卒業年 2023年以前

3.卒業月 3月および9月



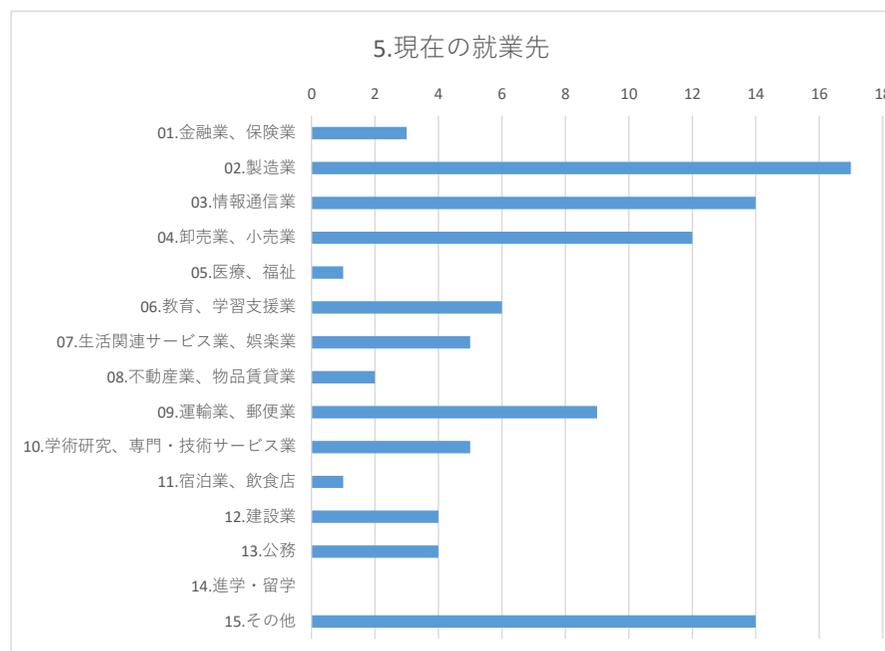
4.現在の就業状況等

1.正規雇用	77.3%	75
2.非正規雇用	1.0%	1
3.自営	7.2%	7
4.進学・留学	0.0%	0
5.上記以外	14.4%	14
		97



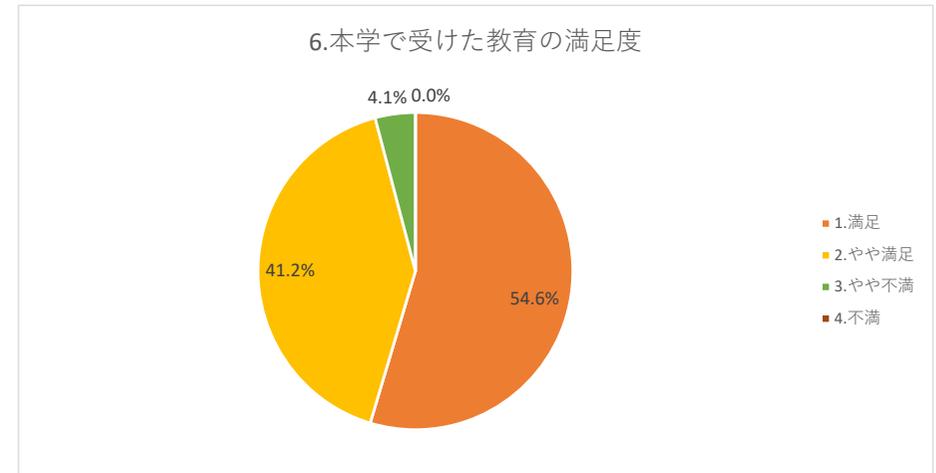
5.現在の就業先等

01.金融業、保険業	3
02.製造業	17
03.情報通信業	14
04.卸売業、小売業	12
05.医療、福祉	1
06.教育、学習支援業	6
07.生活関連サービス業、娯楽業	5
08.不動産業、物品賃貸業	2
09.運輸業、郵便業	9
10.学術研究、専門・技術サービス業	5
11.宿泊業、飲食店	1
12.建設業	4
13.公務	4
14.進学・留学	0
15.その他	14



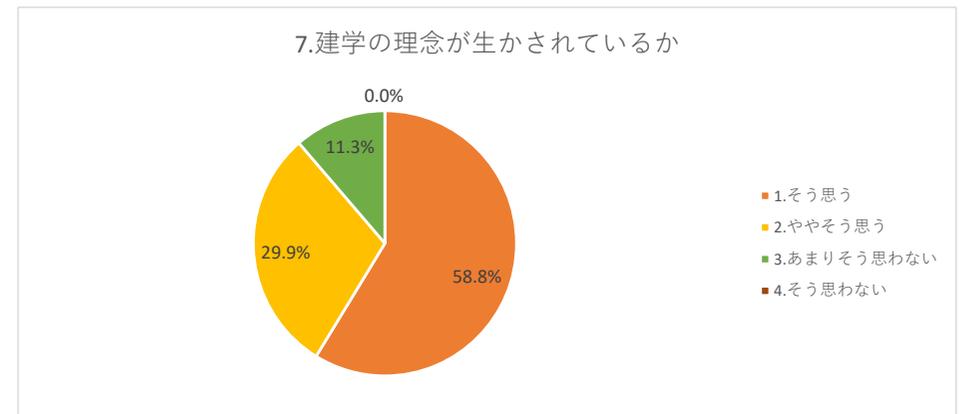
6.本学で受けた教育の満足度

1.満足	54.6%	53
2.やや満足	41.2%	40
3.やや不満	4.1%	4
4.不満	0.0%	0
		97



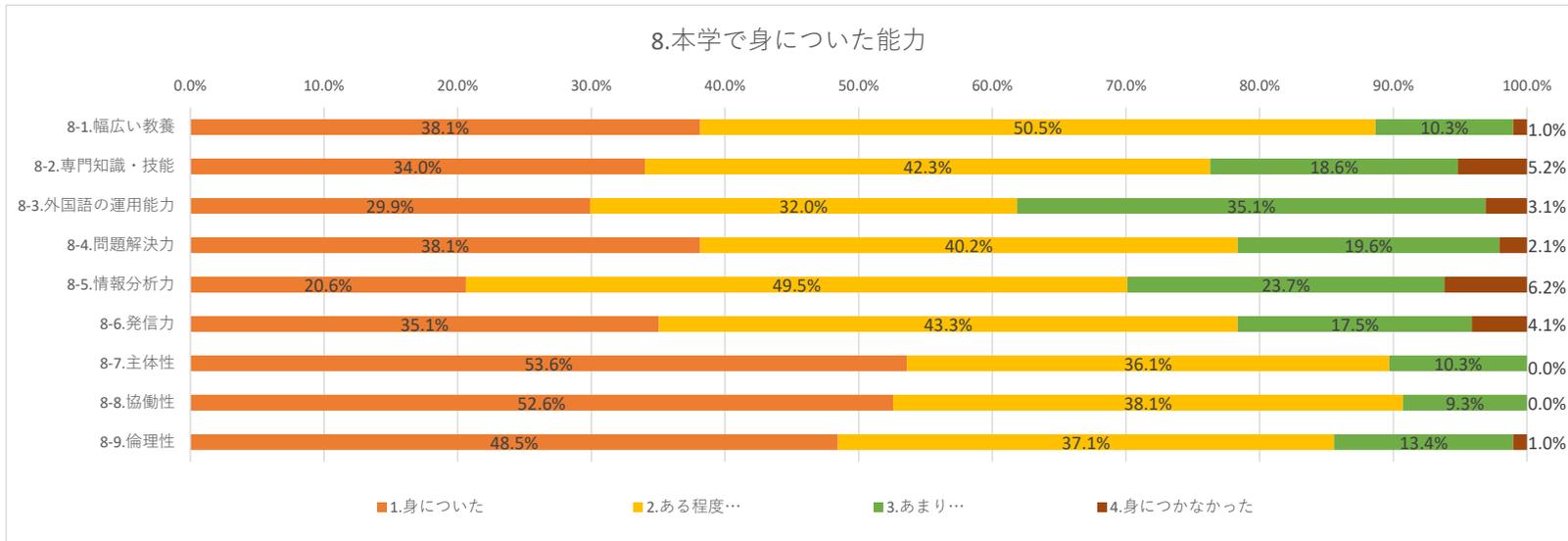
7.本学の建学の理念「大学は学問を通じての人間形成の場である」について、これまでの人生を振り返ってみて、この考え方や理念が生かされていると思いますか？

1.そう思う	58.8%	57
2.ややそう思う	29.9%	29
3.あまりそう思わない	11.3%	11
4.そう思わない	0.0%	0
		97



8.次の能力（8-1～8-9）について、本学で学んだことにより身についたと思いますか？

	1.身についた	2.ある程度身についた	3.あまり身につかなかった	4.身につかなかった
8-1.幅広い教養	38.1%	50.5%	10.3%	1.0%
8-2.専門知識・技能	34.0%	42.3%	18.6%	5.2%
8-3.外国語の運用能力	29.9%	32.0%	35.1%	3.1%
8-4.問題解決力	38.1%	40.2%	19.6%	2.1%
8-5.情報分析力	20.6%	49.5%	23.7%	6.2%
8-6.発信力	35.1%	43.3%	17.5%	4.1%
8-7.主体性	53.6%	36.1%	10.3%	0.0%
8-8.協働性	52.6%	38.1%	9.3%	0.0%
8-9.倫理性	48.5%	37.1%	13.4%	1.0%



9.大学の教育活動、キャリア支援についてご意見がありましたらご記入ください。

<p>(1)実社会で役立つ教育プログラムが必要と感じる。</p> <p>(2)卒業生と大学の間に壁を感じる。非常に変化が速い時代であり、生涯勉強という時代なので、卒業生向けプログラムや支援の充実が必要と感じる。</p> <p>(3)語学を標榜しているも、国際色豊かな大学ベスト10に入らない事も散見される。海外含めたOB同士の横のつながりや在校生との関わりが必要であると感じる。</p> <p>語学は手法であり、あくまでも目的達成の為に使うツールであると認識したほうが良い。</p>
<p>・獨協大学を卒業して25年経過して強く感じることは、社会に出ると人脈が重要だということ。</p> <p>獨協大学の先輩、後輩の縁を大切にすることが重要だということを是非、学生に伝えたい。(会社内での昇進、転職などでも役に立つ)</p> <p>・獨協のキャリアセンターの方々、学生に寄り添い、素晴らしい成果を出していると感じています。まだキャリアセンターを頼らず就活を行う学生が多いと感じます。</p> <p>もっとキャリアセンターに頼ればいいのにと感じる人が多いです。</p>
<p>いわゆる5教科ができる学生が求められる時代が終わったので</p> <p>早稲田だから慶応だから、東大だからといって就活がうまくいく時代ではない。ただし、どうしても「書く力」「読解力」は入試の国語で高得点をとれた人が強い。就活の時のES。社会人になってからの企画書。</p> <p>これらを書かせると早慶の学生は強いと感じる。逆にいえば、もうこれくらいしか学校名で計れる能力の差がない。</p> <p>一番大切な一緒に働きたいと思わせる人間性・協調性、穏やかさは獨協はかなりいいと思う。校風と建学の理念がでている気がする。</p> <p>したがって基礎演習で国語力を鍛えるような取り組みができればよいのではないか。</p>
<p>お世話になっております。金融機関の情報システム部門に所属しています。社内では、「ビジネス」又は「情報技術」、キャリアがどちらかに偏ることががほとんどです。そのためか、互いに相容れない場面を多く見てきました。労働集約型から抜け出せ無いビジネス人材、技術(手段)を使うことが目的になってしまうデジタル人材、といった具合です。</p> <p>文理融合型の情報科学教育プログラムの取組みをされていると拝見し、将来両方の長所を備えた人材が輩出されるのはとても意義のあることだと思いました。益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。</p>
<p>キャリア支援について。</p> <p>学生が就職活動を開始する前(1~2年生)に、自己分析を正しくおこない、興味ある業界の仕組みや自分との親和性を学ぶことの重要性を強く感じています。</p> <p>自己分析はキャリアカウンセリングや自己分析ワークショップを定期的を実施し、自己分析ツールやテストを導入して自分の性格や能力を客観的に把握することが大事だと思います。</p> <p>また、いきなりインターンシップや企業訪問というのは少しハードルが高く感じるので、大学と企業(OB?)の連携を強化し、業界の専門家を招いた講義やセミナーを開催し、現場の最新情報やトレンドを直接学ぶ機会があれば効果的かもしれません。</p>
<p>キャリア支援についてではありませんが、今まで何社か就職して思うことは、結局はその会社と縁があるかどうかだなと思っています。希望の会社に就職してもすぐに辞めたくなるようなブラック企業かもしれないし、希望外の会社に就職しても他にやりがいや影響を受ける人に出会えるかもしれないので、学生さんには決まった場所でひとまず頑張ってみて欲しいなと思います。</p>
<p>ご協力できる部分があれば是非協力させていただければと思います</p>
<p>ゼミの存在が大きかった。先生からの言葉が、公務員として働く姿勢の根本となりました。</p>

<p>リベラルアーツ、特に歴史（国内、海外）は大事なので、力を入れていただきたい。就活は、都内でのイベントや情報等入手しやすいよう支援してあげてほしい。また、卒業生がいない企業にも果敢にチャレンジしてほしい（企業にとっては目立ちますよ）</p>
<p>英語の授業が必須でしたが、せっかく力を入れるのであれば、各クラスごとで目標を決めた方がモチベーションが高まるのではないかと感じました。英語を覚えることにマイナスはないので、もう少しモチベーション高く受けていれば良かったと感じています。</p>
<p>外国語学部でしたので嫌がをにも言語が溢れてくる体験をしました。それを減少させないために結婚後も英語だけはずっと続けています。キャリアには誰もが望んだからなれる物でもなく本人のやる気さえあれば専門性を様々な分野で生かしていけると思います。特に同窓会では職業別で出にくくなるようなボーダーは無くすべきだと思います。</p>
<p>学業と民間企業との温度差が大きいので、総合講座や、民間企業の仕組み、株等の金融関係もより深く、学問として取り入れた方が良いと思います。また、修士卒業生が活躍できていないことが目立ちます。</p>
<p>学生時代は真面目に勉強する学生が多く、良い意味で感化された。授業だけではなくサークル活動を通じても自主性を培った。 入学した時は高校時代があまりにもよかったため落ち込むこともあったが、卒業する頃にはよく勉強する学生が多い獨協を誇りに思った。現在は経理職で学生時代の専攻（英語）を活かした職業ではないが、周りの卒業生は海外に飛び立っている人も多い。いまだに学生時代の友人とはコンタクトをとっている。</p>
<p>学ぶための大学だと思うので、その役割を果たしていると思うし、今後もそうであってほしい。</p>
<p>学問、教育、人格形成など様々な目的が大学にはあるが、通常の授業の他にも、学生の主体性の発露であり実験の場となる学友会活動、単に20前後の若者の試行錯誤の場に留まらない深みを与える同窓会と、公設私設問わず様々な機関がある。これらのステークホルダーを高度に有機的に統合して行く事が出来れば獨協の独自性にも繋がるし、単にキャリア支援に留まらない複合的に有意義な取組が可能になる。 現状それぞれ自分の領域に押し止まっているので、相互のコミュニケーションを定期的かつ高頻度に行う事で連携を強めて欲しい</p>
<p>企業で英語力とビジネス力を繋げる社員教育をできる場所も少ないので、大学でのインターンシップをぜひ実施してほしいなと思います。</p>
<p>去る6月9日の「同窓生の集い」に参加したついでに、キャンパス内を歩いて、気がついた点があったので、以下の通りお伝えします。</p>
<p>私は上智大学や立教大学（池袋）のキャンパスを訪問する機会があります。この大学では、難民や平和反戦、人権など様々なテーマで学生を啓発させるイベントのポスターや立て看板があった。 一方で、我が母校は就職活動のボードがあるだけで、社会問題への関心を持っている雰囲気は感じなかった。</p>
<p>大学が学生に対し、社会問題などに関心を抱かせる取り組み、発信が不足している点が大いに気になった次第です。</p>
<p>今後、ITに関し、将来専門家にならずとも、公務員・一般企業を目指す学生さんにも最低限必要な技術・知識が備わっているを前提の方々を輩出して欲しい。 本年度も弊社学生採用時に、この観点は優先順位が高いポイントになっていました。 ご検討、宜しくお願い致します。</p>
<p>今思っても、よくやっていただいたと思っております。感謝のみです。</p>

私は在学中、あまり勉強しなかったので今更ですが後悔の念に苛まれています。今の大学の教育環境は当時と違い大きく向上していると思いますし、学生も優秀だと思います。いい会社に入ることも大切だと思いますが、やはり、自分は何をしたいかを早く見つけられるかどうか、その後の進路に大きく影響すると思いますので、大学としては、各学生が早く将来の自分を見つけられるようにサポートしてあげることが大切かと思ひますし、早く気が付かせるような授業があるといいと感じました。私ももう一度大学で学び直したいと思ひます。

就職活動のみならず、「社会人とは何なのか」「社会にどう溶け込むか」などの社会に出てからの実践的な話を聞けるチャンスがあると、日々の学問に繋がると思ひます。卒業生も微力ながらお役に立てられると思ひます。

情報系の勉強をするのであれば、数学も何らか勉強できるようにした方がいいと思ひます。基本情報処理試験で出てくる計算問題で数字アレルギーが出る人が多いと思ひます。わたしは応用情報ですが、未だ計算問題は飛ばしています。

人生を豊かにしてもらうため、人格を高める教育・サポートに注力していただきたいです。

他の主要大学に比べ、情報発信力が希薄で、いまだに「どこにある大学ですか?」とか「初めて聞きました」と言われる。卒業当初は若い大学なので仕方ないと思っていたが、創立60年を数える大学としては極めて怠慢と言わざるを得ない。もはや卒業生・在学生から芥川賞・直木賞作家でも出ない限り、いちいち説明しないと分かってもらえない大学を脱皮できないのか、と半分あきらめの境地である。もっとまめに車内広告をすとか、地道なところでは中央棟の「DOKKYO」の文字をLEDライトで発光して夜を照らし、東武線から見えるようにすとか、獨協大学前駅周辺を「大学都市」として埼玉県から全国に大きく宣言してもらうとか、ともかく出来るところから徹底して情報発信してほしい。こぢんまりと草加の地方大学化していることが悲しくてならない。建学の精神は全国いや全世界に発信されたものであるはずだ。名が広まれば自然と人の英知や支援が集まり、教育活動、キャリア支援ともやりやすくなるはずだ。

大学は役に立たないという大人がいますが、決してそうではありません。年を重ね役に立っていることを国大や偏差値が高いであろう私大出身の社員やバイトの学生にも話しています。獨協の教育を受け、自信を持って彼らに話しています。少子化もあるのか最近商売重視で個性のない私立大学が増えているように思ひます。これまで知り合った多数の大学の人たちと話していると自分が所属している間は何とでもなるのか、なかなか「自分が所属する(勤務している)大学を良くしていこう」と考え、行動する学生・教職員が少ないのが何れ残念に思ひています。こんな時代だからこそ、獨協の個性ある教育を発信して欲しいと願っています。いろんな考えがあり難しい時代ですが、日本のそれぞれの大学が学生や地域に寄り添った大学であって欲しいと思ひます。獨協の置かれている立地環境はうらやましく思ひます。どうかその良さを活用して発展していられることを念じております。陰ながら応援しております。ありがとうございました。

大学時代に得た知識だけでなく、何かに挑戦した経験が今の仕事のスタンスにも活かされていると思ひます。当時、留学やインターンシップ、部活動、ゼミなどいろいろな選択肢やチャンスを用意して後押ししていただき、本当にありがとうございます。今後の益々の発展をお祈りしています。

大学時代のことを思い出しても懐かしくなりました。大学時代をより有意義なものにするには、とにかく自分で動いて、いかに機会、設備、時間を最大化するかだと思います。(私はとにかくゼミの先生からと、留学時代に学びました。)キャリア支援でできることは、ゼミの先生と連携して学生に働きかける接点を増やすことが必要だと思います。応援しています!

大学時代を獨協大学で過ごせたことは素晴らしい経験となりました。「英語を話せるだけでは何にもならない」と入学当初から言われたことは、とても良かったです。帰国子女が多い本学で様々なことを期待以上に学べましたが、英語力の差に愕然としたことも確かでした。その中で自分の強みを見つけようと努力できたのは、先生方の地道で堅実な声かけがあったからです。大学職員の皆さんにも色々な場面で手助けしていただきましたし、部活動や同窓会の繋がりも長く続いています。ありがたいことです。

長く働いていると多くの先輩・後輩と同じ会社で、または業界内で会う機会が結構な頻度であります。なかなか大変な業界ですが、同窓に会うのは非常に良い刺激になります。機会があれば後輩のフォローを出来ればと考えます。

天野先生の考えを発信できるのは学生としては学友会とその周りだけなので、学友会をキャリア支援に大きく関わらせることができればより学生に浸透すると思います。或いは、反発されてしまうかもしれませんが…。

学生が自ら主体的に人間形成を行う機会をつくることこそが1番のキャリア支援であると考えます。

転職が当たり前の時代かもしれませんが、企業側からみると新入社員は育つのに時間がかかります。若い人と話をすると、自分に合った会社を見つけたいと言いますが世界中探してもそんな会社はありません。自分に合った会社ではなく、自分を合わせらるかです。

東大や早慶など他大学出身の社員と関わっても、上述のスキルは社会に出て身につける特性が強いものと個人的には考えています。外国語においてはかなりアドバンテージを得た実感があります。

能力の8-1と8-4以降について以下コメントします。▽通常の授業やゼミ活動だけでの修得は困難（満足感無し）。▽卒業生や教授の人的ネットワークを活用し学生にとってインタラクティブな環境の提供が大学に求められる。▽外部との繋がりを持つことは個人では困難でむしろ『大学』という信頼性を活かしそれを主導しない限りメリットのない大学として埋没する（危機感）。

予備試験や法科大学院入試、法律系資格試験に向けた講座があれば良いと思います。

留学制度など、多分充実していたんだと思います。ただ、興味がなかったのか、法律学科の私は留学することはありませんでした。

1年ぐらいの留学経験をできるならやってみたかったなって思うことがあります。

ぜひ、ある程度長期間にわたっての留学について、積極的にアピールされてはいかかかなと思いました。

獨協の良さは実践的な力やコミュニケーション能力を身につけた、現場で活躍できる人材が育つことだと思います。私は大学で尊敬する恩師と出会い、ゼミでの活動でこのような力を身につけることができたこと感謝しています。現在は入学生を送り出す立場（高校教師）ですが、微力でも獨協の良さを伝え、受験者を少しでも増やしたいと考えています。就職においては大手・中小にこだわらず、安泰ではなく、自分の力次第で活躍できる場を自ら求め切り開く、フロンティアスピリットを持った自由闊達な人間が育つ教育の場であってほしいと願っています。